



14

- 東部 -

しば た まなぶ
柴田 学

水産加工会社 勤務
柑橘農家

応募のきっかけは？

長女が生まれた2017年の年末頃から子育て環境について考え始めました。その頃は保育園の待機児童問題が取り上げられてもいました。妻が柳井市出身のため、馴染みのあった岩国市や柳井市を中心に移住先を探していましたが、周防大島町のことを知り、「大島、面白そう」と心が動き、協力隊に応募しました。

どんな活動をしたいと 思っていましたか？

正直な話をすると、「行ったら何とかなる」と思っていました。前職は印刷業でしたし、音楽編集ソフトを使用して楽曲制作などもしていましたので、映像編集ソフトにもすぐに馴染めました。また、担当する周防大島チャンネルは、既に活動中の方がいらっしや、下地は出来上がっていたので、そこに参加していくイメージでした。

着任してみて、想像と違っていたことは ありましたか？

妻の実家への帰省で、山口県の土地柄には馴染みがありましたし、自分自身も田舎出身ですから、東京からの移住とはいえ、スムーズに田舎暮らしに入っていくことができました。

隊員時代の思い出を教えてください

着任後3ヶ月が過ぎた頃、周防大島チャンネルの番組の取材をする中で、柑橘農家の「山本弘三さん」と「弘三さんのミカン」に出会いました。人生で味わった中で一番美味しいと感じたミカンでした。これが縁で、自分自身も柑橘農家

隊員時代：番組制作



として就農を目指すことにしました。

また、周防大島チャンネルでの番組制作の仕事は、企画から取材のアポイント、制作編集のスケジュールも全て一人で行います。チームで仕事をするよりも、一人で黙々と仕事をするほうが向いていたようで、好きなように自由にやらせていただきました。この感覚は、今の柑橘農家の仕事とも共通していて、性に合っているなと感じています。

現在、そしてこれからについて

3〜4年後はミカンをメインにした環境にシフトすることを目標に、新たな苗木を植えるなどして生産量を増やしています。



また、栄養士の資格を持つ妻がカフェ経営を目指していることもあり、店舗兼住宅を購入しました。妻の夢が早く実現するよう、そして家族との時間を大切にするためにも協力したいと思っています。

協力隊を目指す人や後輩に伝えたいこと

誰にでも何がしかの縁があると思うので、コトやモノに限らず、自分と縁のあるものをたどってみるのも良いかもしれません。知らない未知の世界でも、事前に調べて準備していれば、良い出会いになるのではないかと思います。

時に、「イメージが違っていた」という言葉を耳にすることがありますが、あまり気持ちの良いものではないと感じます。移住する前から勝手なイメージを固めてしまった結果ですから、あまり気負わず、柔軟な考え方を持つことが大事なかなと思います。

しば た まなぶ
柴田 学さん

協力隊として

| 着任地 | 周防大島町
| 活動期間 | 2018年9月〜2021年8月
| 活動内容 | 周防大島チャンネルの番組制作や町のPR活動

現在の仕事

水産加工会社 勤務、柑橘農家



栽培ミカン



柴田さんのあゆみ

2017. 〇 移住イベント参加

2018.09 〇 協力隊着任

2018.12 〇 山本弘三さんに
出会い、ミカン栽培
に興味を持つ

2019.04 〇 柑橘栽培(座学・実習)
について学び始める

2020.05 〇 就農

2021.08 〇 協力隊卒業